



# 三世代で楽しめる道の駅

## 「グランテラス筑西」に行こう

7月にオープンした道の駅「グランテラス筑西」へみなさんはもう行きましたか。筑西市の地域振興の拠点として期待される道の駅の魅力を紹介します。

「グランテラス筑西」は、下館駅から循環バスで15分。東京へ向かう高速バスも停留し、車を運転しない人にも楽しんでもらえる道の駅です。

オープンしたばかりの道の駅が、どんなものなのか、私たち市民も興味津々です。そんなグランテラス筑西について、鈴木一志<sup>すずきかずし</sup>駅長にお話を伺いました。

### 「グランテラス筑西」の一番のアピールポイントは？

「約48,000㎡と県内最大規模の敷地に子どもからお年寄りまで、三世代で楽しめる道の駅である



わたなべ りいち  
渡邊 利一さん (旭ヶ丘)

予想よりたくさんの方が訪れることに驚きました。今後も筑西市の魅力を多くの人に伝えて欲しい。



手ぶらで楽しめるバーベキュー場、家族みんなで楽しめます

ことです」と鈴木駅長。広々とした芝生広場を囲むように施設を配置し、「回遊型」の道の駅をコンセプトにしています。

物産販売やフードコートだけでなく、コンサートやイベントが行えるステージを完備し、室内外に子どもの遊び場や収穫体験もできるバーベキュー施設などを設け、幅広い年齢

の人に楽しんでいただけるように工夫されています。また、各施設をつなぐ渡り廊下デッキから、筑波山を一望できる景観の良さもアピールポイントの一つです。

### 1日の来場者数は平均6000人

オープン以来、連日イベントが開催され、県内外から数多くの方が訪れています。いったいどれほどの集客なのか伺ってみると、オープンから8月末までの間は、1日のレジ通過客数で、平均6000人の来場があり、多くの方がオープンを心待ちにしていたことがわかります。「当初の予想を大幅に上回る集客に、職員からはうれしい悲鳴があがっています。夏休みが終わった後もこの集客を維持できるように努力していきたいです」と鈴木駅長はうれしそうに語ってくれました。

今後は、バスツアーの誘致や市内の団体と協力したイベントなど、さまざまな催しを考えているとのこと、ますます期待が高まります。

### 地元の農産物やご当地グルメも大好評

道の駅では、市内のお店の商品や地元の農産物も大変好評です。こだますいかや梨をはじめとした



筑波山が一望できる渡り廊下デッキ、目の前に広がる大パノラマは圧巻です

**問** 道の駅「グランテラス筑西」  
営業時間：午前9時～午後6時  
第3水曜日定休 ☎45・50055

旬の果物や野菜は、産地の強みを活かして売り上げを伸ばしており、地元ブランド豚「キングポーク」やお惣菜、市内の工場で作られるチョコレートなども売れ行きは好調です。また、フードコートでは、ご当地グルメの下館ラーメンや常陸秋そばなどが気軽に食べられることから、連日大勢のお客さんにぎわっています。

1日中楽しめる「グランテラス筑西」へ、ぜひ行ってください。

